

平成25年度

予算編成方針

3月5日、平成25年度の予算案などを審議する「第2回定例町議会」が開会され、林町長が今年度の予算編成方針を発表しました。



小清水町長 林 直樹

“安心して暮らすことができるまちづくり”

を目指します

町政執行における基本姿勢

私は、町民の皆様から小清水町長二期目の町政を担わせていただき、早くも残り5カ月で4年の任期満了の日を迎えようとしております。

私は、平成17年8月、凶らずも小清水町長に初当選させていただき、以来、町政運営にあたって、

① 地域医療の確保・情報の共有・心の豊かさを重要施策として取り組むこと

② 町民の目線に立ち、誠実で公正・公平な町政を行うこと

③ 町民と共にふるさと小清水の産業と自然を守り、地球にやさしい行政を行うこと

④ 身の丈にあった行財政運営を目指し、町財政の健全化を推進すること

の4項目の「姿勢」を基本としながら、私の公約として町民の皆様にお約束しております、

① 基幹産業である農林業・商工観光の振興

② 安全・安心なまちづくりの推進

③ 安心して暮らすための社会資本基盤の整備

④ 教育の充実

⑤ 健全な財政の維持と行財政改革の推進

の5項目を「主な政策」の柱として掲げ、時代の大きな変革に対応しつつも、町民の皆様の期待にお応えできるよう、微力ながらも全力を傾注し行政課題に取り組んで参りました。

特に、二期目における主要な課題は、

① こどもの目線に立った小学校の再編と小清水小学校及び小清水中学校校舎等の改築問題

② 高齢化社会を迎えて介護サービスの需要に対応できる特別養護老人ホーム「愛寿苑」の拡充と施設の充実を図るための基本構想等の樹立

③ 全町を網羅する光通信網の整備

④ 町民が安心して住み続けられる居住環境の向上と地元経済の活性化

などでありましたが、これらの事業も順調に推進することができました。

このことは、何と申しまでも町議会の皆様をはじめ、町民皆様や関係機関団体の変わることのない温かいご理解とご指導のおかげと存じまして、心より深く感謝を申し上げます。

平成25年は、私の任期最終年となりますが、「町政の主役は町民」であることを改めて強く心に刻み、町民の皆様お一人おひとりが安心して暮らすことができるまちづくりの実現に向け、平成23年3月に策定いたしました「第5次小清水町総合計画」を指針として、かつ町民憲章の精神を生かした町政運営に全力で取り組んで参ります。

本年は町長の改選の年であり、骨格予算の方針で編成することを基本としておりますが、この選挙につきましては年度の中間において執行されますため、この間、行政に空白、或いは停滞を及ぼすことは許されませんので、政策事業でありましても継続的なもの、既に調査設計などを実施しているもの、その他町政の進展を図るうえで当初予算から計上すべきもの、判断した経費については計上することといたしましたので、次ページ以降で概要をお知らせいたします。